

地域保健

5
2021

●特集

保健師人材育成のいま、 そしてこれから





【特集】

6

保健師人材育成のいま、そしてこれから

第1部 保健師人材育成の現状

- 8 キャリアラダーの作成状況と国の保健師研修の概要
麻生保子 (元厚生労働省健康局)
- 15 「保健師八策」で高知らしい人材育成を—高知県の保健師人材育成
藤原真里 (高知県健康政策部)
- 20 「共に学ぶ」土壌づくりを目標に—つくば市の保健師人材育成
小野村順子 (つくば市保健部)
- 24 「市町村保健師の人材育成体制の構築支援事業」から見えてくるもの
村嶋幸代 (大分県立看護科学大学)、川崎涼子 (長崎大学大学院)
- 30 都道府県の為の「市町村保健師管理者能力育成研修ガイドライン」を用いた研修について
成木弘子 (日本赤十字看護大学)

第2部 平時と健康危機時を見据えた人材育成

- 36 キャリアラダーを中心に平時と健康危機時の人材育成を考える
佐伯和子 (富山県立大学)
- 40 激動の時代の人材育成で統括保健師に求められるもの
春山早苗 (自治医科大学大学院)
- 44 【オンライン座談会】新人保健師は新型コロナウイルス感染症対策にどう向き合ったか
中板育美さん (武蔵野大学) = 司会、阿部由奈さん (港区みなと保健所)
向井千香子さん (新宿区健康部牛込保健センター)、北川あゆ美さん (滋賀県南部健康福祉事務所 (草津保健所))

② ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 渡 光子さん (港区みなと保健所健康推進課)

⑦⑥ 研究報告 ▶ 「マルトリ予防」と「とも育て」を学ぼう・広めよう—養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築
榎原信子 (福岡大学子どものこころの発達研究センター)

⑧⑦ ピープル ▶ 中島 潤さん (認定 NPO 法人 ReBit 事務局長兼キャリア事業部シニアマネージャー)

⑨② 情報BOX

⑨⑥ 次号予告/奥付

連載

58 【新連載】東京保健師ものがたり《第1回》/和泉慶子

68 【新連載】オンライン市役所だより《第1回》
/保健師とつながろう課

70 保健師に求められるLGBTQの知識と支援の在り方
《第3回》/日高庸晴

72 保健師のストレスケアに生かすバッチフラワー
《第3回》/八木知美

74 ESSAY 国際保健《第43回》/松田正己

84 保健師のための閑話ケア《第94回》/藤本裕明

88 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第79回》/中臣昌広



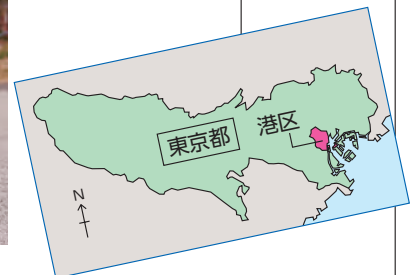
東京屈指の観光名所、東京タワーは職場のすぐ近く。毎日、威風堂々とした景観に元気をもらって、仕事に励んでいる

渡光子さん

わたり・みつこ

港区みなと保健所 健康推進課 健康づくり係

いきなりコロナ対応からのスタート
「今後は地域に入って
地域づくりのお手伝いをしたい」



第1部

保健師人材育成の現状

- P8 キャリアラダーの作成状況と国の保健師研修の概要
◎麻生保子（元厚生労働省健康局）
- P15 「保健師八策」で高知らしい人材育成を一高知県の保健師人材育成
◎藤原真里（高知県健康政策部）
- P20 「共に学ぶ」土壌づくりを目標に一つくば市の保健師人材育成
◎小野村順子（つくば市保健部）
- P24 「市町村保健師の人材育成体制の構築支援事業」から見てくるもの
◎村嶋幸代（大分県立看護科学大学）、川崎涼子（長崎大学大学院）
- P30 都道府県の為の「市町村保健師管理者能力育成研修ガイドライン」を用いた研修について
◎成木弘子（日本赤十字看護大学）

第2部

平時と健康危機時を見据えた人材育成

- P36 キャリアラダーを中心に平時と健康危機時の人材育成を考える
◎佐伯和子（富山県立大学）
- P40 激動の時代の人材育成で統括保健師に求められるもの
◎春山早苗（自治医科大学大学院）
- P44 〈オンライン座談会〉新人保健師は新型コロナウイルス感染症対策にどう向き合ったか



中板育美さん
（武蔵野大学）＝司会



阿部由奈さん
（港区みなと保健所）



向井千香子さん
（新宿区健康部
牛込保健センター）



北川あゆ美さん
（滋賀県南部健康福祉事
務所〈草津保健所〉）

これから
いま、そして
保健師人材育成の



新型コロナウイルスへの対応では日常の健康を守る保健師のスキルが役立った。保健師としての基礎力があれば、新しい問題に直面しても応用が利くことが証明されたといえる。

一方、保健師の人材育成はコロナの影響により足踏みを余儀なくされた。大きな危機を経験したいまこそ、いっそう力を入れるべき課題であり、今後、各自治体には平時と健康危機時を両睨みした体制構築とともに、それを支える保健師の人材育成プログラムが求められるだろう。

5月号の特集は保健師の人材育成をテーマに2部構成でまとめる。第1部ではコロナ禍の前から進んでいる保健師の人材育成について、現任教育を中心に現状を整理する。第2部では平時と健康危機時を見据えた人材育成についてテーマごとに深掘りしていく。また、新人時代にいきなりコロナ禍を経験した保健師たちの座談会を掲載し、健康危機と共存する時代の「育ち」について考える。

中島潤

さん

●認定NPO法人ReBit

事務局長兼キャリア事業部シニアマネージャー

あらゆる人が、それぞれのちがいを
お互いに尊重できる社会を目指して

近年、LGBTという言葉は広く認知されるようになった。日本では13人に1人がLGBTという調査（2015年電通ダイバーシティ・ラボ調べ）もあるが、実際にどのような社会課題があるか理解が進んでいるとは言えない状況だ。LGBTに関する適切な理解を広め、互いの「ちがいを尊重し合う社会風土を醸成するため、多くの子どもたち、そして子どもに関わる大人や社会に向けて発信している認定NPO法人ReBitの中島潤さんにお話を伺った。

自分が困った経験を
なくすために

「LGBTを含めた全ての子どもが、ありのままの自分で大人になれる社会」を目指し活動する認定NPO法人ReBit。大学生や20代の若者を中心に、LGBTの人でもそうでない人も参加している団体で、その活動実績は今年で11年を迎える。

中島潤さんは団体の設立当初から学生メンバーとして活動に関わっていたが、2年

前に正式加入し、キャリア事業部マネージャーを経て事務局長として専念するようになった。

「この社会課題が解決されるまでは自分の時間をこの活動に投じたいと考えていましたし、実際に仕事をしたり大学院に進学したりしながら並行して活動していました。いま、LGBT関連は追い風が吹いています。これを一過性のブームに終わらせないようにチームとして力を発揮したい」

この団体の活動の核となっているのは、

「自分たちが困った経験を、どうすればなくすことができるのか」。学校で困った経験が教育事業に、就職活動や職場で困ったことがキャリア事業につながっている。

「LGBTの存在も課題も見えにくいので、できることを一つずつ積み重ねるしかない。まず存在を認知してもらい、多様な性を前提とした仕組みや制度が整わないと、課題の認知と解決にたどり着けません。一歩ずつつなげていくことが使命だと思っています」

●取材・文……………太田美由紀（ライター）

特集

ウィズコロナ・ポストコロナの地域の課題

— 窮地に追い込まれる女性たち

●女性の雇用・生活へのコロナ禍の影響

白波瀬佐和子（東京大学大学院）

●保護を必要とする女性たちを支える制度の現状と課題

堀 千鶴子（城西国際大学）

●コロナ下における女性の貧困

中村淳彦（ノンフィクションライター）

●コロナ下におけるシングルマザーの問題

小森雅子（NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ）

●女性の自殺が増えている

本橋 豊（いのち支える自殺対策推進センター）

●コロナ下におけるDV・性暴力

加茂登志子（若松町こころとひふのクリニック）

●〈座談会〉支援・保護が必要な女性に対して保健師ができること、
保健師に望むこと

出席者 看護系大学教員、婦人保護施設職員、NPO関係者 など

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 十川穂香さん（西予市生活福祉部健康づくり推進課）

ピープル

森田圭子さん（特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン共同代表／特定非営利
活動法人わこう子育てネットワーク代表理事）

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健

令和3年5月号

令和3年5月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行

発行人 菅 国典

制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22

株式会社 東京法規出版

振替 00160 - 1 - 371595

【購読の申し込み】

TEL 03-5977-0300

FAX 03-5977-0385

ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】

TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子

◎印刷・製本＝（株）上野印刷所

◎編集長＝須賀健次

◎編集員＝松岡康子

本誌に掲載された著作物の
複写・転載等の許諾権は、
株式会社東京法規出版が保
有しています。

バックナンバー紹介

2020 年 1 月号

新春座談会「保健師の業務を効果的・効率的に進める
—統括保健師は何をすべきか」

保健師の業務を効果的・効率的に進めるために、行政経営の視点などを参考に、統括保健師の果たすべき役割を考える。

特集「子どもの自殺を防ぐ—10代を中心に」

全体の自殺者数が減る中で10代は横ばいもしくは増えている。その実態と対策。

2020 年 3 月号

特集「認知施策推進大綱で保健師の地域活動はどう変わる？」

共生と予防を車の両輪とする「認知施策推進大綱」。座談会や事例などを通して、大綱が保健師の役割にどんな影響があるのか読み解いていく。

特別座談会「厚生労働省での学びを地域に
—気づき、抱負、今後のビジョン」

全国の自治体から出向や研修派遣で厚生労働省に來ている保健師たちが集い、仕事のやりがいや新しく学んだことなどを自由に語り合う。

2020 年 5 月号

特集「健康経営を地域と企業のコラボレーションで」

健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点から戦略的に実践すること。健康経営の本質を考え、地域・職域連携による健康経営の具体的な姿を探っていく。

2020 年 7 月号

特集「どこからが体罰か」

—体罰等によらない子育て推進における母子保健の役割」

「体罰等によらない子育て推進」ガイドラインの解説、逆境的小児期体験の心身への影響、虐待予防最前線として母子保健に期待される役割などをまとめる。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部
FAX : 03-5977-0385

2020 年 9 月号

特集「コロナ時代の災害支援」

近年多発する地震、豪雨などの自然災害時におけるコロナ対策のあり方についてまとめる。

座談会「コロナ時代の保健活動」

—ウイルスと共存する社会の健康づくり」

ソーシャルディスタンスを保つなど、新しい生活様式を定着させる中で、住民の健康を守る保健師の活動を継続する方法などについて話し合う。

2020 年 11 月号

特集「コロナで進化・加速するオンライン&デジタル保健」

コロナ時代にあらゆる分野でオンライン化、デジタル化が推進されつつある。地域保健領域におけるこれらの潮流を概観する。

2021 年 1 月号

特集1「健康危機管理能力を高める」

—新型コロナ対策を中心に」

国の健康危機管理の視点から日本版 CDC や新型インフルエンザ特措法について解説し、地域の健康危機管理について座談会で語り合う。

特集2「コロナ禍とメンタルヘルス」

—コロナうつを中心に」

コロナうつやコロナ不安、自殺者の増加など、コロナ禍に端を発するメンタルヘルスの問題に対して打開策を探る。

2021 年 3 月号

特集「児童相談所と地域の関わり」

—これからの社会的養育推進に生かす保健師の視点」

児童福祉法等の改正を踏まえ、国は「新しい社会的養育ビジョン」を打ち出している。社会的養育推進における保健師の役割などについて、座談会で議論し、取り組み事例を掲載する。

※バックナンバーの価格

(2009 年 3 月号まで) 837 円 (税込) + 送料 154 円

(2009 年 4 月号～

2016 年 3 月号まで) 942 円 (税込) + 送料 154 円

(2016 年 5 月号から) 1,507 円 (税込) + 送料 154 円

『地域保健』購読のご案内

●年6回、隔月〔奇数月〕1日発行

●B5判、総100頁(本文96頁、表紙4頁)

●価格 1冊あたり 定価1,507円(本体1,370円+税)、送料154円

年間購読 《公費前納および個人》8,137円(税込、送料弊社負担)

年間購読 《公費後納》9,042円(税込、送料弊社負担)

※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

昨今の COVID-19 対策においては、その流行が長期化しており、過剰な業務量とマンパワー不足によって感染症対策に従事する保健師は疲弊している状況にあります。保健師の離職を予防するために、COVID-19 対策に携わる保健師のメンタルヘルスに対する支援が課題となっています。

新型コロナウイルス感染症対策等に対応する 保健師のストレスマネジメント

ー 認知行動療法を活用したリモート研修プログラムの作成と有効性の検討ー

2021年 5月22日(土)・5月29日(土) 13:00~15:00

2021年 7月3日(土)・7月24日(土) 13:00~15:00

いずれかの日程でご都合のよい日程をお知らせください。

*研修時間は2時間程度、アンケート回答時間は受講前後各20分程度を予定しています。

目的

認知行動療法を活用したリモート研修プログラムを新型コロナウイルス感染症対策に携わる保健師に対して実施し、疲弊する状況の中にあっても、保健師が自らのストレスマネジメントを行うことができるようになることを目的としています。

研修内容〈講義・演習〉/ 講師

1. はじめに ～ 本研修の目的
2. 自分の心をみつめよう / 自分の困っていることを整理しよう
3. 気持ちをつらくする受けとめ方、「認知」を知ろう
4. バランスよく考えて、気持ちを楽にしよう
5. 困っていることを解決しよう
6. エクササイズを体験しよう
7. まとめ・質疑応答



岡田 佳詠
Yoshie Okada

国際医療福祉大学
成田看護学部

看護師に対する認知行動療法のストレスマネジメント研修を数多く行っております。

参加申込

参加費：無料 本研究に対する同意(アンケートへのご協力)を得られる方に限らせていただきます。

以下の Google Forms から参加申込してください。

【URL】<https://onl.tw/8ReVGRy>

申込受付後に、順次、研究についてのご説明と
ZOOM 情報についてご連絡いたします。



こちらから
簡単に登録

本研究は、文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)により行われるものです(課題番号:21K10976)。

企画・連絡・問合せ

国際医療福祉大学
成田看護学部

中川 陽子

〒286-8686 千葉県成田市公津の杜 4-3

E-mail

y-nakagawa@iuhw.ac.jp

TEL

0476-20-7756